

いいね! 恵那市公式SNS

市では、SNS でいろいろな情報を発信しています。「いいね!」やフォローをして、市からの情報を受け取ってください。

☎ 総務課 (内線 324)

第2回 恵那市公式 Instagram フォトコンテスト 入賞作品決定!!

6月24日から8月10日まで、第2回市公式 Instagram フォトコンテストを開催しました。期間中に「#恵那の魅力2020夏」を付けて投稿された417点の写真を審査し、入賞作品4点を決定しました。選ばれた写真を、入賞者のコメントと共に紹介します。



撮影地
中野方町

▲ takayoshi_ao 青木孝義さん (中津川市・71歳)

恵那市の Instagram コンテストはとても良い試みです。このように恵那の魅力写真を紹介できることに感謝しています。坂折棚田は10年以上撮っている大好きな場所でもあります。



撮影地
山岡町

▲ matsuda_katsuyoshi 松田勝義さん (岐阜市・56歳)

新型コロナウイルス感染症の影響で、県外への外出は控えようという中、疫病に勝つという田んぼアートが県内にあると聞きここを訪れました。展望台には、その取り組みや地域の魅力を紹介した掲示物やチラシが置いてあり、地域に関わる人達の温かい思いを感じることが出来ます。田んぼアートを見下ろす丘から、その風景を写真に残そうとカメラを構えるカメラマンの姿に、忘れかけていた子どもの頃の夏の思いを重ね、シャッターを切りました。



撮影地
山岡町

▲ teru_caesar 今西輝彦さん (多治見市・45歳)

山岡の田んぼアート周辺は私の幼き頃を思い出すすてきな風景で、ここに来るといろいろな思い出がよみがえってきます。そんな誰しもが心に残っている幼き頃の甘酸っぱい思い出を表現したく、この作品を投稿しました。カメラを始めてようやく2年になるところで、このようなコンテストで入賞させていただき大変ありがとうございます。



撮影地
笠置町

▲ ten_r 鵜飼浩樹さん (武並町・60歳)

今年の夏は自粛ムードの中、遠くに出掛けることもなく、改めて恵那市の中を歩き回り、知らなかった恵那をたくさん知ることが出来ました。コンテストに参加された方の写真による情報も参考にさせていただきました。今まで以上に恵那が好きになりました。ありがとうございます!



その他の話題もウェブサイトに掲載



ニュースと話題 NEWS & TOPICS



8月23日

気持ちいい! 中野方川でマスを捕まえたよ

中野方町で、マスつかみ大会が開催されました。郷土の川で遊ぶ気持ち良さを体験してほしいと、中野方地域協議会川遊び実行委員会が一昨年に行っているこのイベント。子どもたちは、北中生や保護者、地域の大人たちに見守られながら、恐る恐る川の中に足を踏み入れ、マスをみつけると歓声を上げて追い掛けていました。



8月19日

カヌーに乗って軽快に木曾川を疾走

恵那北小学校の5、6年生22人が、笠置峡ボート・カヌー場でカヌー体験学習を行いました。この学習は、地元を流れる木曾川でカヌーの楽しさを体験しながら、笠置町の良さを実感するために開催。児童らは、講師の指導を熱心に聞いて操作法を学び、水上に出ると軽快な動きでカヌーをこいでいました。



9月2日

被災地で役立てて 西中生徒会が義援金を寄付

7月に発生した豪雨災害を受け、恵那西中学校では、生徒会執行部が義援金の募金活動を行いました。集まった義援金は、日本赤十字社岐阜支部を通じて県に届けていただくことになり、同校で贈呈式が行われました。生徒会長で3年生の小島結葉さんは「少しでも力になりたい。被災地で役立ててください」と話しました。



8月23日

市少年消防隊の隊長と副隊長に辞令を交付

岩村消防署で、市少年消防隊の隊長と副隊長の辞令交付式を行いました。例年は全少年消防隊員が集う入隊式を開催していましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で中止。全隊員128人を代表し、隊長と副隊長のみの12人で辞令交付を行いました。隊員らは、さまざまな体験や訓練を行い、防災に関する知識を身に付けます。



9月9日

手作りのパンフレットで大正村を巡ろう

明智中学校2年生と恵那南高等学校2年生が共同で、日本大正村などを紹介するパンフレットを制作し、公益財団法人日本大正村に寄贈しました。「大正村をのぞいてみよう!」と題し、観光マップの他、明智光秀ゆかりの地などが紹介されています。パンフレットは、大正村観光案内所や明智振興事務所で配布します。



9月9日

見て見て! 大きな栗が拾えたよ

中野方小学校3年生11人が地域を学ぶ社会科の授業で、えな笠置山栗園(中野方町)を訪れ、今までの学習から感じた疑問を生産者に直接聞いた後、栗の収穫体験を行いました。鈴村菜心さんは「栗園に来て今まで調べ学習で分からなかったことや、栗作りで工夫していることを知ることができて良かった」と話しました。